

北方生物圏フィールド科学センター 水圏研究領域 助教公募

2024年12月19日

各国公私立大学（学部）長 殿
各関係機関の長 殿

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター
水圏研究領域 助教候補者選考委員会
委員長 仲岡 雅裕

教員の公募について（依頼）

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター（以下、「センター」という）におきましては、下記の要領により教員を公募することになりました。つきましては、貴学・貴施設関係者に周知くださいますとともに、適任者をご推薦いただきたく、ご依頼申し上げます。

よろしくお願い申し上げます。

記

- 1. 職種：**助教 1名
- 2. 任期：**本センターでは助教に5年の任期を付しており、審査の上さらに5年間の再任を認めることがあります。採用から5年の間に昇任審査で認められれば、准教授（任期なし）に昇任可能です。
- 3. 所属・分野等及び職務内容：**（付記1を参照）
（雇入れ直後）
担当ステーション：水圏ステーション
教育研究部：水圏研究領域
大学院：環境科学院・生物圏科学専攻・水圏生物学コース
学部：水産学部・海洋生物科学科または海洋資源科学科（兼務）に係る教育研究業務
（変更の範囲）大学の定める場所及び業務内容

4. 勤務地： 水圏ステーション・白尻水産実験所

〒041-1613 北海道函館市白尻町152

5. 応募資格・条件

- (1) 博士の学位を有するか、着任までに学位取得の見込みのある方
- (2) 水圏生物学、水圏環境学、水産資源学、海洋生態学などに関する学問分野において、卓越した業績、研究・教育能力を有する方
- (3) 北海道大学の全学教育、水産学部の学部教育、大学院環境科学院の大学院教育を担当できる方
- (4) 学外の学部学生・大学院学生などを対象とした教育関係共同利用拠点にかかる業務（付記2を参照）に関して、水圏ステーションの施設・設備を積極的に活用して、その企画・遂行に責任を持って取り組める方
- (5) 水圏ステーションの地方施設やセンターの野外研究施設などの管理運営に意欲と責任感をもって参加しうる方。地方施設での勤務、研究、社会教育を含む地域との諸関係などを全うできる方。特に、白尻水産実験所の施設を利用した野外調査および水槽飼育実験、およびそれを利用する関連部局、研究機関や地方自治体、民間企業等との共同プロジェクト・事業等の実施運営に責任をもって取り組める方
- (6) 日本語および英語で教育が行える方。特に本学が実施する国際プログラムに積極的に参画できる方

6. 採用予定日：2025年7月1日以降できるだけ早い時期

7. 試用期間：あり（3ヶ月）

8. 給与：国立大学法人北海道大学年俸制教員給与規程による

9. 勤務形態：同意に基づく専門業務型裁量労働制※または固定労働時間制を適用
（※1日に7時間45分労働したものとみなす）

10. 健康保険等：文部科学省共済組合、厚生年金、労災保険、雇用保険加入

11. 募集者の名称：国立大学法人北海道大学

12. 受動喫煙防止措置の状況：特定屋外喫煙場所を除き、敷地内禁煙

13. 応募書類

- (1) 履歴書 1通 (顔写真付き、6ヶ月以内に撮影されたもの)
※2013年4月1日以降、北海道大学に在職経験 (非常勤講師、TA、TF、RA、短期支援員などすべての職種を含む) のある方は、当該職歴を漏れなく記載してください。
- (2) 研究業績目録 1部 (付記3を参照)
学術論文 (査読あり)、学位論文、著書、総説、その他 (査読なし) に分けて記載してください。また、国際的・全国的シンポジウムのオーガナイザー、招待講演、各種受賞、競争的研究費や受託研究費の獲得状況なども記載してください。教育業績には、講義・実習の担当やその他の大学内外における教育活動の参考となる事項を記載してください。
- (3) これまでの研究・教育、社会貢献の実績 (2,000 字以内) 1部
主要論文等の実績を含めて具体的に記述してください。
- (4) 応募にあたっての抱負など (2,000 字以内) 1部
採用後における研究・教育の展開に関する抱負、特にセンター・ステーション・施設の管理運営に関する抱負などを記述してください。
- (5) 応募者について照会できる2名の氏名と連絡先電子メールアドレス
(ただし、応募者は照会者に連絡を取る必要はありません)
- (6) 主要論文5編以内の別刷またはコピー

14. 応募期限： 2025年2月28日 (金) 必着

15. 応募書類の提出先

〒060-0811 札幌市北区北11条西10丁目
北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター
係長 (人事担当) 宛

※「水圏研究領域助教公募」と朱書きし、書留で郵送してください。

※ 応募書類は原則として返却しません。

※電子メールの添付ファイルによる応募も可能です。その際は応募書類をPDFファイルにまとめてください。送付する電子メールの件名は「水圏研究領域助教公募」としてください。

提出先の電子メールアドレスは syomu AT fsc.hokudai.ac.jp です (AT を@に置き換えてください)。

※ 応募書類に含まれる個人情報、選考目的以外には使用いたしません。

16. 選考方法

書類選考を中心としますが、必要に応じて面接を行うこともあります。ただし、面接に

際して交通費は支給しませんので、あらかじめご了承ください。状況により、面接はインターネットを通じて実施する場合があります。

17. 問い合わせ先

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター
水圏ステーション・厚岸臨海実験所・仲岡雅裕 (nakaoka AT fsc.hokudai.ac.jp; ATを@に置き換えてください)

北海道大学では、多様な人材による教育・研究活動の推進に努めております。また、教育・研究活動と生活の両立支援、能力発揮・活躍環境整備も積極的に進めています。取り組みの詳細は、以下のウェブサイトを参照してください。

<https://diversity.synfoster.hokudai.ac.jp/statement/>

付記

- 1) 「センター」は、研究林・牧場・農場・植物園・臨海実験所などの施設を統合して設立された学内共同施設（研究施設）です。教員は、森林圏ステーション・耕地圏ステーション・水圏ステーション（本公募のステーション）のいずれかに所属し、各施設およびセンターの管理運営にあたるとともに、森林圏研究領域・耕地圏研究領域・水圏研究領域・統合研究領域からなる教育研究部（領域）に所属して、教育・研究を行っています。「センター」の詳細については、ホームページ (<https://www.fsc.hokudai.ac.jp/>) を参照してください。現在、水圏ステーションは、教授6名・准教授4名・助教5名で構成されています（特任教員含む）。
- 2) 白尻水産実験所、七飯淡水実験所、忍路臨海実験所は、文部科学省教育関係共同利用拠点「食糧基地、北海道の水圏環境を学ぶ体験型教育共同利用拠点」に現在認定されています。本公募により着任した教員は本拠点の業務も担当して頂くこととなります。詳細については (<https://www.fsc.hokudai.ac.jp/suisan-kyoten/>) をご参照ください。
- 3) 業績目録の様式は下記よりダウンロードしてお使いください。
<https://www.fsc.hokudai.ac.jp/recruit/>
ただし、必要な情報がすべて入っていれば、他の書式でも構いません。